

所属・氏名（ 保健医療学部 救急救命学科 氏名：吉川 孝次 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会 等の名称	概 要
1 (学会関連) JPTEC 認定コース 開催と指導	共同	2003年3月～	・JPTEC プロバイダー養成コース ・JPTEC インストラクターコース	日本救急医学会の公認、病院前外傷処置の教育コースを開催計画や指導を 170回以上実施
2 (学会関連) MCLS	共同	2012年5月～	・MCLS 標準コース MCLS ・CBRNE コース ・MCLS インストラクターコース	集団災害認定コースの企画、開催及び指導（日本災害学会公認の集団災害対応コースの開催計画や指導を 65 回以上実施）
3 (発表 ) JPTEC 陸上自衛隊 13 旅団 バージョン構築の試み	共著	2014年5月	第 17 回日本臨床救急医学総会・学術集会	陸上自衛隊の有事活動中に、負傷した隊員の救護に関して、JPTEC の理論に基づいた救護活動が、可能になるか試みた。 (山野上敬夫、吉川孝次、尾形昌克、竹崎亨、岸田正臣、桜井由佳、瀬浪正樹、大坪洋、陸上自衛隊 13 旅団)
4 (発表) 陸上自衛隊の外傷教育への JPTEC導入の試み	共著	2015年5月	第 31 回日本救急医学会中国四国地方会	陸上自衛隊の救急法評価員集合訓練としての、JPTEC の応用について活用を検証した。 (山野上敬夫、吉川孝次、友安陽子、竹崎亨、瀬浪正樹、大坪洋、玉川一博)
5 (発表 ) 修正下顎挙上の示指法が母指法に比べ確実性が高く、難易度が低い要因についての検討～下顎角圧について～	共著	2020年8月	会第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会	修正下顎挙上法の下顎角圧は母指法に比べ示指法の方が有意に高く、安定した圧力が作用した。抄録集:454 頁 (吉川孝次、安田康晴、二宮伸治、坂口英児、友安陽子、津村龍、山本弘二)
6 (発表) 修正下顎挙上法の示指法と母指法の確実性、難易度の比較検討	共著	2020年10月	第 36 回日本救急医学会中国四国地方会	修正下顎挙上法は、示指法が母指法に比べ確実性が高く、かつ難易度は低かった。抄録集:20 頁 (吉川孝次、安田康晴、二宮伸治、坂口英児、友安陽子、津村龍、山本弘二)
7 (発表) 重症外傷傷病者に対する修正下顎挙上法の検討	共著	2021年5月	第 37 回日本救急医学会中国四国地方会	重症傷病者に対する修正下顎挙上法は示指法を推奨すべきである。抄録集:40 頁 (吉川孝次、安田康晴、二宮伸治、佐々木広一、坂口英児、友安陽子、津村龍、山本弘二)
8 (学術論文) 重症外傷傷病者に対する修正下顎挙上法の検討	共著	2021年1月	日本臨床救急医学会雑誌 別冊 Vol. 24 No1.2021	重症傷病者に対する修正下顎挙上法は示指法を推奨すべきである。 総ページ:5 ページ 28-32 頁 (吉川孝次、安田康晴、二宮伸治、坂口英児、友安陽子、山本弘二)